

支部 Newsletter

北海道支部

◎道央ブロック企画事業(報告)

8月9日(木)、『Special Lectures on Linguistics』(講師: Yohei Oseki氏、Kazuko Yatsushiro氏、Uli Sauerland氏)が北海道大学で開催され、本支部道央ブロックは共催を務めました。

◎道北東ブロック企画事業(報告)

9月9日(日)、『2018年度小学校英語教育学会北海道地区セミナー: 小学校の教科化にはこう対応する! 中学校の指導はどうなる?』(講演講師: 萬谷隆一氏、ワークショップ講師: 本多敏幸氏、実践報告: 東川町内小学校教諭等)が北海道教育大学旭川校で開催され、本支部道北東ブロックは共催を務めました。

◎第63回大会の開催(報告)

11月3日(土)、本支部第63回大会が、道南ブロックの北海道教育大学函館校において開催されました(共催: 函館英語英文学会、後援: 北海道教育大学函館校)。参加者は49名でした。今大会は1件の研究発表をはじめとして、語学部門特別講演「ゲルマン祖語から見た英語統辞法の特徴: ゴート語聖書翻訳を参照して」、文学・語学部門共通特別講演「英語教育の歴史に学び、現状を問い直す」、文学部門シンポジウム「箱館英学を繙く: 文化的地域の考察」、語学部門シンポジウム「コーパス英語学の最近の試み」が行われ、充実したプログラムとなりました。

◎理事会および総会について(報告)

支部大会当日に開催された理事会では、議題3点と報告4点がありました。支部の活動方針や会計状況等について議論・承認された後、2019年度の支部大会開催校が提案され、承認されました。また、総会では、活動報告、決算報告、次年度支部大会開催校の報告がなされました。

◎支部理事選挙について(報告)

10月、次期支部理事選挙で10名の候補者が選出されました。選挙管理委員は岡崎清氏(札幌学院大学)と眞田敬介氏(同)が務めました。

◎新支部体制について(報告)

12月、支部規約に則り、新しく選出された理事による新理事会での審議を経て、新支部体制は、以下のように承認されました。(敬称略、五十音順)

支部長: 上野誠治(北海学園大学)

副支部長: 野村益寛(北海道大学)

副支部長・本部評議員: 本堂知彦(北海道教育大学札幌校)

本部監事: 星野立子(北海道教育大学函館校)

理事: 上野誠治、岡崎清(札幌学院大学)、奥聡(北海道大学)、金井彩香(千歳科学技術大学)、瀬名波栄潤(北海道大学)、十枝内康隆(北海道教育大学旭川校)、野村益寛、濱田英人(札幌大学)、星野立子(北海道教育大学函館校)、本堂知彦、松井美穂(札幌市立大学)

会計監査委員: 斎藤彩世(北星学園大学)

事務局長: 藤田佳也(酪農学園大学)

事務局長補佐: 森川慎也(北海学園大学)、渡部あさみ(北海学園大学)

また、本部理事には瀬名波栄潤氏を候補者として推薦することになりました。運営委員会の構成については、支部ホームページにて別途ご案内致します。

◎『北海道英語英文学』第64号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第64号に掲載する原稿を募集しています。締切は2019年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第63号(『英文学研究 支部統合号』第11巻)の巻末または支部ホームページをご覧ください。

◎第64回支部大会について

2019年度支部大会は、道央ブロックの北海道大学札幌キャンパスでの開催に決定しました。日程は確定し次第、支部ホームページにてご案内致します。

◎2019年度の事務局について

この度、事務局が交代いたします。2019年

度の事務局は以下の通りです。

酪農学園大学 英語圏文化研究室内(藤田佳也宛)

〔住所〕 〒069-8501

江別市文京台緑町582番地

〔TEL/FAX〕 011-388-4704

〔メールアドレス〕 hokkaido@elsj.org

〔ホームページ〕

<http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

◎会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願い致します。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

(文責 金井彩香)

東北支部

◎第73回支部大会開催報告

第73回東北支部大会が、2018年12月1日(土)、山形大学小白川キャンパス人文社会科学部1号館で開催されました。当日は12月にしては比較的暖かな一日で、参加者はおよそ50名を数えました。大会では9件の研究発表および2件のシンポジウムが行われ、活発な質疑応答が展開されました。また懇親会も和気藹々とした雰囲気の中盛会のうちに終了しました。

大会準備から運営に至るまでご尽力くださった開催校の先生方および学生スタッフの皆様、研究発表された皆様、司会、シンポジウム講師を務められた皆様、そして当日参加された会員の皆様、出版社の皆様にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

詳細は東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)をご覧ください。

◎支部役員選出

支部役員選挙結果にしたがって、次期理事が選出されました。新支部長は大河内昌(東北大学)、新副支部長は川田潤(福島大学)がつとめます。事務局は宮城教育大学に置かれ、事務局

長を竹森徹士(宮城教育大学)、事務局長補佐を島越郎(東北大学)がつとめます。詳細は東北支部ホームページをご覧ください。

◎東北支部研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」次回締切

東北支部の研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」は若手研究者の支援を目的とし、4月1日、10月1日と年2回の締切を設けて募集を行なっています。今回の締切は2019年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある申請書ファイルをダウンロードのうえ、事務局(tohoku@elsj.org)宛にご応募ください。

◎『東北英文学研究』第9号発行および第10号原稿募集

『東北英文学研究』第9号が『英文学研究 支部統合号』第11号に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第10号の原稿を募集しています。締切は2019年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧の上、事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

(文責 竹森徹士)

関東支部

◎関東支部16回大会(2018年度秋季大会)報告

日本英文学会関東支部第16回大会(2018年度秋季大会)は、2018年10月27日(土)、早稲田大学戸山キャンパスにて開催されました。研究発表7本、シンポジウム3つという充実した内容で、のべ250名以上の会員にご参加いただきました。開催校の皆様、および大会準備委員の皆様のご尽力に感謝いたします。

◎関東支部第17回大会について

日本英文学会関東支部第17回大会(2019年度夏季大会)は、2019年6月15日(土)に開催予定です。会場は東洋大学を予定しております。研究発表の応募締め切りは2019年4月末日です。詳細は関東支部ウェブサイトをご覧ください。なお、大会準備委員会では夏季大会を上智大学、秋季大会を東洋大学をお借りして開催す

る準備を進めてまいりましたが、諸般の事情により、6月大会を東洋大学、秋の大会を上智大学にて開催する運びとなりました。ご了承ください。

◎『関東英文学研究』第12号について

『関東英文学研究』第12号への投稿を募集しております。締切は2019年5月15日(水)(必着)です。奮ってご投稿ください。投稿規定につきましては、関東支部のウェブサイト、および『関東英文学研究』第11号の巻末をご覧ください。

◎理事会報告

2018年10月27日(土)に、早稲田大学戸山キャンパスにおいて2018年度第2回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 支部長報告(理事選挙の結果など)
2. 大会準備委員会報告(2019年度夏季大会、委員の交代など)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第11号、委員の交代など)
4. 事務局報告(2017年度会計監査、講師派遣事業など)
5. 理事会推薦理事について
6. 本部理事について

◎編集委員会報告

2018年9月15日(土)に、大東文化会館において2018年度第3回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2018年度優秀論文賞・若手奨励賞について
該当論文なしと確認。
2. 特別寄稿論文査読報告、判定
3. 2018年度再提出論文査読報告、判定
4. 投稿規程の改訂(図版の掲載について)
5. 2019年度特別寄稿論文の依頼
6. 2019年度の後任委員

以下の人事を承認(敬称略:以下同様)

イギリス文学

木谷巖(帝京大学)→ 笹川浩(中央大学)
小町谷尚子(慶應義塾大学)→ 阪本久美子(日本大学)
井川ちとせ(一橋大学)→ 井上麻未(聖路加国際大学)
桃尾美佳(成蹊大学)→ 北川依子(東京工

業大学)

井口篤(慶應義塾大学)→ 杉藤久志(日本大学)

アメリカ文学

佐々木真理(実践女子大学)→ 中谷崇(横浜市立大学)

堀内正規(早稲田大学)→ 梶原照子(明治大学)

斎木郁乃(東京学芸大学)→ 藤村希(亜細亜大学)

英語学・英語教育

佐藤桐子(大東文化大学)→ 斎藤弘子(東京外国語大学)

◎大会準備委員会報告

2018年10月27日(土)に、早稲田大学戸山キャンパスにおいて2018年度第1回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2019年度副委員長(2020年度委員長)
岩永弘人(東京農業大学)が2019年度副委員長に選出された。
なお、2019年度委員長は冬木ひろみ(早稲田大学)。
2. 2019年度の後任委員
以下の人事を承認
垂井泰子(中央大学)→ 川崎明子(駒澤大学)
土井良子(白百合女子大学)→ 木谷巖(帝京大学)
貞廣真紀(明治学院大学)→ 古屋耕平(神奈川大学)
倉林秀男(杏林大学)→ 今井純子(順天堂大学)
3. 今後の大会企画担当
4. 2019年度夏季大会
以下のシンポジウムを実施予定。
分野別シンポジウム1(イギリス文学)
紹介から研究へ——若き齋藤勇の英詩講義ノート(新発見!)を読む(仮)
分野別シンポジウム2(アメリカ文学)
エスニシティとナラティブのポリティックス:信用のおけない語りを中心に(仮)
5. 今後の予定

◎2019-2020年度日本英文学会関東支部役員選挙結果報告

2018年10月22日(月)締切にて、2019-2020年度日本英文学会関東支部役員選挙が行われました。結果を下記のとおり報告いたします。

【選挙選出理事10名】(50音順、敬称略)

新井潤美(上智大学)、アルヴィ宮本なほ子(東京大学)、遠藤不比人(成蹊大学)、大石和欣(東京大学)、大申尚代(慶應義塾大学)、川端康雄(日本女子大学)、秦邦生(青山学院大学)、武田将明(東京大学)、田尻芳樹(東京大学)、中井亜佐子(一橋大学)

【理事会選出理事9名】(50音順、敬称略)

阿部公彦(東京大学)、奥聡一郎(関東学院大学)、越智博美(一橋大学)、後藤和彦(東京大学)、近藤弘幸(東京学芸大学)、斎藤兆史(東京大学)、寺澤盾(東京大学)、原田範行(東京女子大学)、冬木ひろみ(早稲田大学)

【2019年度日本英文学会関東支部】

支部長	阿部公彦(東京大学)
副支部長	奥聡一郎(関東学院大学)
本部理事候補	阿部公彦(東京大学)、 原田範行(東京女子大学)
監事	斎藤兆史(東京大学)
評議員	後藤和彦(東京大学)
事務局長	佐美真理(東京藝術大学)

◎事務局よりご連絡

- 『関東英文学研究』第11号には、10本の投稿論文が寄せられ、特別寄稿論文と合わせて7本が掲載されました。投稿数、掲載数ともに前号を上回り、充実したものとなりました。今後も関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。優秀な論文には、新人奨励賞・優秀論文賞を授与しています。ぜひ積極的にご投稿ください。
- 2018年8月27日(月)に、岡山市立市民文化ホールにて、岡山県立岡山朝日高等学校進路教養講演会(日本英文学会関東支部共催)「学問の魅力～4技能の上を目指す英語学習法～」が開催されました。講師は東京大学大学院教育学研究科の斎藤兆史教授

(関東支部理事)です。本講演会は関東支部の講師派遣事業の一環としておこなわれました。関東支部では、中学校、高等学校を対象に、支部会員を英米文学／英米文化に関する講演や授業に講師として派遣しています。講演料は関東支部の基金から支出します。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、教育委員会関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局(kanto@elsj.org)までご連絡ください。詳しくは、支部ホームページの「講師派遣事業」のページをご参照ください。

(文責 伊澤高志)

中部支部

◎第70回支部大会報告

2018年10月27日に第70回支部大会が愛知学院大学名城公園キャンパスにて開催されました。爽やかな秋晴れのもと、シンポジウム3件と8人の研究発表が行われ、70名を超える出席者がありました。シンポジウム・研究発表は知的刺激に満ちたものが多く、大会後の懇親会は和やかな雰囲気にもまれ、盛会のうちに終了いたしました。大会の運営にご尽力いただいた開催校関係者の皆様、シンポジウム講師、発表者、司会者の皆様、当日参加された会員の皆様、協賛いただいた出版社の皆様にはあらためてお礼申し上げます。

講師、発表者の方々には9月に刊行されますプロシーディングズへのご投稿の権利がございます。詳細につきましては4月初め頃にご連絡の予定です。また、ご発表を元に論文に発展させ、『中部英文学』へのご投稿を検討いただければ、なお幸いです。

◎支部総会報告

支部大会に先立ち、当日支部総会が開催され、以下の議題が報告もしくは提案され、了承されました。なお、総会資料・議事録につきましては支部ウェブサイトに掲載されました。

1. この一年の活動報告
2. 前年度会計決算報告
3. 今年度予算案
4. 次年度以降事務局担当校ならびに支部大会開催校について

◎理事選挙結果および新年度役員

2019年4月からの2年間を任期とする理事を選出するための事前の候補者推薦作業を経て、支部大会当日に理事候補者信任投票が行われました。その結果、次の10名の方々(敬称略)が理事に選出されました。

内田恵(静岡大学)、大室剛志(名古屋大学)、小田敦子(三重大学)、杉野健太郎(信州大学)、滝川陸(名古屋大学)、田中智之(名古屋大学)、中川直志(中京大学)、長畑明利(名古屋大学)、三矢(鈴木)達也(南山大学)、山本卓(金沢大学)

また、2019年度は引き続き現事務局が事務を担当することや地域のバランスを考慮し、支部規約21条に定める推薦理事に、次の6名の方々(敬称略)が選出されました。

内田勝(岐阜大学)、内海智仁(岐阜大学)、長澤唯史(椙山女学園大学)、宮地信弘(三重大学)、内藤亮一(富山大学)、中村太一(福井大学)

支部選出の本部役員は、代表理事に内田恵氏(静岡大学)が推挙されました。評議員は、滝川陸氏(名古屋大学)が引き続き務められます。

◎『中部英文学』第39号投稿募集

『中部英文学』第39号投稿の締切は4月10日(水)必着です。執筆ご希望の方は投稿規定を熟読・厳守の上、奮ってご応募ください。

◎第71回支部大会発表募集

第71回支部大会は10月26日(土)、三重大学にて開催されます。研究発表応募締切は5月31日(金)必着です。発表ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。奮ってご応募ください。

◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は速やかにご連絡ください。郵便物や電子メールが届かないケースが起っています。まだメールアドレスを登録されていない方はぜひご登録をお願いいたします。いずれの場合も、日本英文学会本部と中部支部の両事務局にお届けくださいますようお願いいたします。

(文責 小田敦子)

関西支部

◎関西支部第13回大会について

2018年12月8日(土) 11:00より、関西支部第13回大会が神戸女学院大学にて開催され、3件の招待発表を含む24件の研究発表と、英米文学および英語学のシンポジウムが行われました。天候にも恵まれて174名の参加者を数え、懇親会にも85名の出席者を得て盛会裏に終わりました。

大会準備にご尽力くださった学会関係者の皆様、および会場を提供くださった神戸女学院大学関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

◎役員会および総会について

大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、支部長から支部理事選挙および支部長選挙の結果についての説明、大会準備委員長と機関誌編集委員長からそれぞれ事業報告があったほか、会計報告案が承認され、第14回大会の開催校に奈良女子大学が選出されました。また、総会では以上の件について報告がなされました。

◎次期支部体制について

2018年9月から11月にかけて支部理事選挙を行いました。その結果、次の10名の次期支部理事が選ばれました。家入葉子(京都大学)、小澤博(関西学院大学)、金澤哲(京都女子大学)、里内克巳(大阪大学)、玉井史絵(同志社大学)、新野緑(神戸市外国語大学)、西山けい子(関西学院大学)、水野真理(京都大学)、山田雄三(大阪大学)、若島正(京都大学名誉教授)です。その10名の互選により次期支部長として新野緑氏が選出され、副支部長には水野真理氏が就任されることになりました。次の支部長推薦理事5名を加え、新支部体制が整いました。川島伸博(龍谷大学)、谷口一美(京都大学)、難波江仁美(神戸市外国語大学)、西谷拓哉(神戸大学)、廣田篤彦(京都大学)です。

◎機関誌第13号の投稿について

『関西英文学研究』第13号の投稿締切は4月末日です。特にキャリアの浅い研究者による優れた論文には奨励賞が与えられますので、奮っ

てご投稿ください。

◎関西支部第14回大会の研究発表の応募について

関西支部第14回大会は、2019年12月8日(日)に奈良女子大学で開催される予定です。研究発表の応募締切は7月上旬の予定です。奮ってご応募ください。

◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。来年度より新たに支部大会における託児サービスも加わります。事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。

規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

(文責 難波江仁美)

中国四国支部

◎中国四国支部第71回大会報告

2018年10月27日(土)、28日(日)の両日、鳥取大学(鳥取市)において中国四国支部第71回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。福安勝則氏をはじめとする開催校の関係者および鳥取県の学会員の皆様にはたいへんお世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目(27日)は、吉中孝志支部長による開会の辞をもって開会式が行われたあと、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は、英語学関係2編、イギリス文学関係11編、アメリカ文学関係1編、英語教育関係2編の計16編が行われました。今年度は、英詩研究4編、ジョイス研究の4編による1室がそれぞれ設けられました。また、西川健誠氏(神戸市外国語大学教授)による招待発表「受難をどう描くか・描かないか：ハーバートの場合」(司会：鳥根県立大学教授 松浦雄二氏)が行われました。特

別講演は、豊田昌倫氏(京都大学名誉教授)による「Agatha Christie、スタイルの秘密——Hercule Poirotの英語を中心に」(司会：安田女子大学名誉教授 中川憲氏)がありました。特別講演の後、鳥取大学生協第二食堂にて和田綾子氏の司会のもと、懇親会を催すことができました。鳥取ならではの、おもてなしの心に満ちた会となりました。多数のご参加どうもありがとうございました。

第2日目(28日)は、安田女子大学講師の鳥克也氏(司会)の主導のもと、中山悟視氏(尚綱学院大学准教授)、小畑拓也氏(尾道市立大学准教授)、萬屋博喜氏(広島工業大学助教)によるシンポジウム「人間性の更新」がありました。そのあと、高口圭輔副支部長の閉会の辞をもちまして全日程を終了しました。

◎理事会報告

支部第71回大会に先立ち、10月27日午前中の理事会にて次の議題が審議されましたので報告いたします。

1. 事務局長補佐の交代
事務局長補佐が、倉田賢一氏(広島大学准教授)から、松本舞氏(広島大学助教)に交代することが提案され、承認されました。
2. 会計報告および会計監査報告
榎田一路事務局長が2017年度決算報告を行い、会計監査(水野和穂氏、福元広二氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。
3. 次期開催校
2019年度の第72回大会は、10月26日(土)・27日(日)に、徳島大学(開催校責任者：田久保浩氏)で開催されることが承認されました。
4. 2019年度全国大会前夜祭の実施について
2019年5月25日(土)・26日(日)に、安田女子大学(広島市)で開催される日本英文学会第91回全国大会の前夜祭として、5月24日(金)に広島県民文化センター(広島市)にて、International Theatre Company London(ITCL)による*A Midsummer Night's Dream*の公演を実施することが提案され、承認されました。詳細および参加申し込み方法は日本英文学会および日本英文学会中

国四国支部のホームページをご覧ください。

◎支部理事選挙の結果と新支部理事

支部理事選挙の結果、今林修、榎田一路、大地真介、大野英志、小野章、栗原武士、高口圭轉、福元広二、水野和穂、吉中孝志(敬称略・五十音順)の10名が新理事に選出されました。理事会終了後、上記10名の新理事のうち出席者9名による新理事会を開き、「日本英文学会中国四国支部規約」第五条2項に則り、選挙によって選出された新支部理事により、委員会役職、地域性、性別、専攻分野などを配慮し、太田聡、田久保浩、辻祥子、福安勝則、藤吉清次郎、松浦芙佐子、松浦雄二、渡部知美(敬称略、五十音順)が新理事に追加選出されました。

◎新支部理事会の報告と新支部体制

1. 新しく選出された理事による新理事会での合議を経て、吉中孝志氏(広島大学)が次期支部長に選出されました。吉中氏は2期目となります。
2. 支部規約に則り、次の役員が選出されました(敬称略)。
 - ・副支部長：高口圭轉(安田女子大学)
 - ・事務局長：榎田一路(広島大学)
 - ・事務局長補佐：松本舞(広島大学)
 - ・会計監査：水野和穂(広島修道大学)、福元広二(広島修道大学)
 - ・学会誌編集委員長：松浦雄二(鳥根県立大学)
 - ・選挙管理委員長：小野章(広島大学)
 - ・選挙管理委員：田多良俊樹(安田女子大学)、西原貴之(広島大学)
3. 各県の推薦制代表者が選出されました(敬称略)。香川県は現在未定となっています。
 - ・鳥取：福安勝則(鳥取大学)
 - ・島根：松浦雄二(鳥根県立大学)
 - ・岡山：松浦芙佐子(岡山商科大学)
 - ・広島：今林修(広島大学)
 - ・山口：太田聡(山口大学)
 - ・徳島：田久保浩(徳島大学)
 - ・高知：藤吉清次郎(高知大学)
 - ・愛媛：辻祥子(松山大学)

◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

2019年度の第72回大会は、10月26日(土)・27日(日)の両日、徳島大学(徳島市)で開催いたします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(水)(必着)です。たくさんのご応募をお待ちしております。

◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第16号(英文学研究支部統合号第12号)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(水)(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<http://www.elsj.org/chu-shi/studies.html>)をご覧ください。(文責 榎田一路)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第71回大会が、2018年10月20日(土)、21日(日)の両日に、九州女子大学にて、同大学の同一法人となる九州共立大学を開催協力校として、開催されました。大会の運営に多大のご支援をいただきました。大会の運営に多大のご支援をいただきました。中島久代、田中雅子、黒木隆善、永松美保、大塚知昇、永次健人諸先生方をはじめとする関係者及び、学生の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

◎2018年度第2回支部編集委員会が2018年10月20日(土)に開催されました。その後、支部評議員会・理事会の合同会議が開かれました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。詳細な議事録は支部ホームページに掲載されています。

《編集委員会議事録》

1. 『九州英文学研究』第34号(支部統合号Vol. X)の刊行について
2. 『九州英文学研究』第35号(支部統合号Vol. XI)について
3. 九州支部「優秀論文賞」、「奨励賞」の審査について
 - ・九州支部学会賞の基準に沿って審議した結果、今回は、「優秀論文賞」、「奨励賞」とともに該当者なしとなった。
4. 「招待発表者」ならびに懇話について

- ・招待発表では、少なくとも2名の編集委員が発表を聞き、懇話論文を依頼するかどうかを判断する。懇話が決まれば、各部門の編集委員長、副編集委員長より依頼する。
 - ・大会の一般発表者についても、編集委員より広く論文投稿を促すこととする。
5. 支部大会統合プロシーディングズについて
 6. 来年度の支部大会について
 - ・2019年度支部大会は、10月26日(土)、27日(日)に熊本県立大学(開催校責任者：虹林慶氏)にて開催予定。
 7. 編集委員会に関わる規約等の改訂について

《評議員会・理事会議事録》

1. 活動報告
2. 会計報告
 - ・平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)支部会計報告が行われ、監査の園田暁子氏(福岡大学評議員)から確認の報告があった。
 - ・平成30年度会計の中間報告、ならびに平成31年度予算案が提案され、承認された。
3. 統合号出版経費負担について
4. 編集委員会報告
 - ・上記の通り。
5. 評議員校について
 - ・評議員校として福岡工業大学を追加することが承認された。
 - ・九州大学は伊都キャンパスに統合されたことを受けて、一つの評議員校とすることとなった(九州大学から選ばれる評議員数は1名とする)。
6. 支部事務局の交替・新支部長の選出について
 - ・来年度の支部事務局は九州大学に移り、新支部長として大橋浩氏(九州大学教授)にご就任いただくこととなった。
7. 支部選出本部理事・評議員の選出について
 - ・本部理事候補は、支部長の大橋浩氏(九州大学教授)に内定した。
8. 2020年全国大会(九州支部担当)について
 - ・九州支部が担当となる2020年度全国大会は、5月16日(土)、17日(日)に琉球

大学(開催校責任者：石原昌英氏)にて開催予定。

9. 来年度の全国大会、及び、支部大会の開催大学について
 - ・全国大会は安田女子大学(広島市)、支部大会は熊本県立大学にて開催されることが報告された。
10. 支部理事選挙について

◎日本英文学会九州支部理事選挙規約に則り、支部理事選挙を実施した結果、以下の方々が選出されました。任期は、2019年4月1日～2021年3月31日までの2年間です。(敬称略・50音順)また、上記7の本部評議員候補には大津隆広氏(九州大学教授)が内定しました。

鵜飼 信光	後藤 美映	西岡 宣明
大島由起子	小林 潤司	虹林 慶
大津 隆広	高野 泰志	早瀬 博範
大橋 浩	高橋 勤	福田 稔
木下 善貞	竹内 勝徳	山田 英二

◎支部HPに、下記に関する改訂を掲載しておりますので、ご参照ください。

- ・日本英文学会九州支部優秀論文賞・奨励賞規約
- ・大会発表要項
- ・論文投稿規定

- ・九州支部ホームページ・アドレス
<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>
 (文責 秋好礼子)